

アジア地域官民会議の概要

○アジア地域官民会議の開催目的と概要

本会議は、アジアを含む世界的な基準調和への取組みを促進することを目的として、アジア地域における自動車先進国であるわが国が平成10年より開催している。

本会議を通じて、自動車基準調和を推進する世界唯一のフォーラムであるWP29への参加を促し自動車の安全・環境問題の解決と基準・認証制度の国際的な整合化を支援することにより、アジア諸国における道路交通の安全性・環境の保全の向上を図るとともに自動車・自動車部品の開発・生産・認証にかかるコストを低減するなど、アジア地域の健全なモータリゼーションの進展に貢献しようとするものである。

これまでの8回の会議において、WP29への参加、58年協定及び98年協定への加入の重要性が参加各国の共通認識として確認され、これらの実現に向けて活発な討議が行われている。

○今回の成果

今回の会合においては、58年協定加盟にあたっての将来の課題、活動方針等が議論され、またWP29のゴバーン議長を招聘し、自動車基準の調和についてより深い議論が行われた。

その結果、

- 1) 58年協定の加盟にあたり、知識の向上を図り、加盟の際に直面している問題を議論し、より深い理解を図ること。
- 2) 昨年タイで開催された専門家会合に続くインドネシアでの専門家会合を開催し、今後も積極的に専門家会合を開催すること。
- 3) 58年協定加盟に向けてアジア諸国間で中長期的な目標の策定を目指すこと。
- 4) WP29への参加、58年協定の加盟を目指したアジアの連携の強化等新しい官民会議のあり方について議論していくこと。

について共通認識が得られた。

参加国及び地域：インド、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、フィリピン、フランス、ブルネイ、ヴェトナム、香港、マレーシア、ラオス、日本、オーストラリア 南アフリカ共和国、
(はオブザーバー)

出席者：各国の自動車関連行政機関（運輸、環境など）関係者
(日本からは、国土交通省自動車交通局技術安全部
技術企画課国際業務室長 他 1 名が参加)
各国の自動車関連民間団体関係者
自動車工業会
自動車部品工業会 など
(全体で約160名、うち日本から22名が参加)

開催期間：平成16年12月1日（水）～2日（木）

場所：バンコク（タイ）

主催者：自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)・タイ国運輸通信省
後援：日本国国土交通省

過去の議題：第1回会合（東京） 自動車の認証制度のあり方について
第2回会合（北京） 自動車の基準調和のあり方について
第3回会合（東京） 基準調和と認証の相互承認の実現に向けた行動計画策定について
第4回会合（バンコク） WP29への参加の実現と拡大について
第5回会合（ケルツェン） WP29への参加を阻害する要因及びその解決策について
第6回会合（ジャカルタ） WP29への参加を阻害する要因及びその解決策について
第7回会合（マニラ） WP29の下での基準調和及び相互承認への具体的課題について
第8回会合（ハノイ） WP29加盟に向けた各国の今後の活動のあり方について